

## LESSON NOTES

# Advanced Audio Blog S5 #20 Top 10 Japanese Historical Figures: Toyotomi Hideyoshi

---

## CONTENTS

- 2 Kanji
- 2 Kana
- 4 Romanization
- 5 English
- 6 Vocabulary
- 7 Sample Sentences
- 8 Grammar

# 20

# KANJI

1. 豊臣秀吉
2. 貧しい生まれながら、富と名誉を手に入れた日本史上最も出世をした人といえば、豊臣秀吉でしょう。
3. 前回のブログで、織田信長は全国統一を目前に家臣に裏切られ亡くなってしまった...と紹介しました。信長の死後、その後を継いで全国統一を達成したのが、信長の家臣であった豊臣秀吉です。
4. 秀吉の出生については、農民だったという説と足軽と呼ばれる下級武士だったという説がありますが、いずれにしても身分が低い貧しい家庭に生まれたようです。
5. 織田家で信長の雑用係として働き始めた秀吉は、ある冬の寒い日に信長が外出することを知ります。寒い夜には当然草履も冷えていますので、秀吉は信長のために冷えた草履を懐に入れて暖めておきました。この事で「気のきくヤツだ」と信長の目に留まったのが、秀吉の出世の始まりとか。周りの誰もが不可能だと思うことを創意工夫をもって次々可能にしていく秀吉を信長は認め重用していきます。
6. 信長の死後、信長のかたきを討ち、全国を統一した秀吉は、田畑の面積を調べそれに対する年貢（税金のようなもの）を決める「検地」と呼ばれる調査を全国的に行い、経済基盤をしっかりとしたものになります。また、反乱や抵抗をなくし政治の足固めをするため、農民から刀などの武器を取り上げる「刀狩り」も行い成果を納めました。
7. また、秀吉は人の心をつかむのが天才的にうまかったと言われています。また、秀吉の性格をよく表している句として、「鳴かぬなら、鳴かせてみせようホトトギス」というものも有名です。信長のブログで紹介した句と比較してみると、信長と秀吉の性格の違いがよくわかり面白いですね。

# KANA

1. とよとみひでよし
2. まずしいうまれながら、とみとめいよをてにいたにほんしじょうもっともしゅつせをしたひとといえば、とよとみひでよしでしょう。
3. ぜんかいのブログで、おだのぶながはぜんこくとういつをもくぜんにかしんにうらぎられなくなってしまった...としょうかいしました。のぶながのしご、そのあとをついでぜんこくとういつをたっせいしたのが、のぶながのかしんであったとよとみひでよしです。
4. ひでよしのしゅっしょうについては、のうみんだったというせつとあしがるとよばれるかきゅうぶしだったというせつがありますが、いずれにしてもみぶんがひくいますしいかていにうまれたようです。
5. おだけでのぶながのざつようがかりとしてはたらきはじめてひでよしは、あるふゆのさむいひにのぶながががいしゅつすることをしります。さむいよるにはとうぜんぞうりもひえていますので、ひでよしはのぶながのためにひえたぞうりをふところに入れてあたためておきました。このことで「きのきくヤツだ」とのぶながのめにとまったのが、ひでよしのしゅつせのはじまりとか。まわりのだれもがふかのうだとおもうことをそういくふうをもってつぎつぎかのうにしていくひでよしをのぶながはみとめちょうようしていきます。
6. のぶながのしご、のぶながのかたきをうち、ぜんこくをとういつしたひでよしは、たはたのめんせきをしらべそれにたいするねんぐ（ぜいきんのようなもの）をきめる「けんち」とよばれるちょうさをぜんこくてきにおこない、けいざいきばんをしっかりとものにします。また、はんらんやていこうをなくしせいじのあしがためをするため、のうみんからかたななどのぶきをとりあげる「かたなかり」もおこないせいかをおさめました。

CONT'D OVER

7. また、ひでよしはひとのこころをつかむのがてんさいてきにうまかったといわれています。また、ひでよしのせいかくをよくあらわしているくとして、「なかめなら、なかせてみせようホトトギス」というものもゆうめいです。のぶながのブログでしようかいしたくとひかくしてみると、のぶながとひでよしのせいかくのちがいがよくわかりおもしろいですね。

## ROMANIZATION

1. Toyotomi Hideyoshi
2. Mazushii umare nagara, tomi to meiyo o te ni ireta nihonshi jō mottomo shusse o shita hito to ieba, Toyotomi Hideyoshi deshō.
3. Zenkai no burogu de, Oda Nobunaga wa zenkoku tōitsu o mokuzen ni kashin ni uragirare nakunatte shimatta... to shōkai shimashita. Nobunaga no shigo, sono ato o tsuide zenkoku tōitsu o tassei
4. shita no ga, Nobunaga no kashin de atta Toyotomi Hideyoshi desu.
5. Hideyoshi no shusshō ni tsuite wa, nōmin datta to iu setsu to ashigaru to yobareru kakyū bushi datta to iu setsu ga arimasu ga, izure ni shite mo mibun ga hikui mazushii katei ni umareta yō desu.
6. Oda ke de Nobunaga no zatsuyōgakari to shite hataraki hajimeta Hideyoshi wa, aru fuyu no samui hi ni Nobunaga ga gaishutsu suru koto o shirimasu. Samui yoru ni ha tōzen zōri mo hiete imasu node, Hideyoshi wa Nobunaga no tame ni hieta zōri o futokoro ni irete atatamete okimashita. Kono koto de "Ki no kiku yatsu da" to Nobunaga no me ni tomatta no ga, Hideyoshi no shusse no hajimari to ka. Mawari no dare mo ga fukanō da to omō koto o sōi kufū o motte tsugitsugi kanō ni shite iku Hideyoshi o Nobunaga wa mitome chōyō shite ikimasu.

CONT'D OVER

7. Nobunaga no shi go, Nobunaga no kataki o uchi, zenkoku o tōitsu shita Hideyoshi wa, tahata no menseki o shirabe soreni taisuru nengu (zeikin no yōna mono) o kimeru "kenchi" to yobareru chōsa o zenkokuteki ni okonai, keizai kiban o shikkari shita mono ni shimasu. Mata, hanran ya teikō o nakushi seiji no ashigatame o suru tame, nōmin kara katana nado no buki o toriageru "katanagari" mo okonai seika o osamemashita.
8. Mata, Hideyoshi wa hito no kokoro o tsukamu no ga tensaiteki ni umakatta to iwarete imasu. Mata, Hideyoshi no seikaku o yoku arawashite iru ku to shite, "Nakanunara nakasete miseyō hototogisu" to iu mono mo yūmei desu. Nobunaga no burogu de shōkai shita ku to hikaku shite miru to, Nobunaga to Hideyoshi no seikaku no chigai ga yoku wakari omoshiroi desu ne.

## ENGLISH

1. Hideyoshi Toyotomi
2. If you ask who, having been born poor, gained wealth and prestige to have the most successful career in the course of Japanese history, surely it would be Hideyoshi Toyotomi.
3. In the previous blog, I mentioned that just before he managed to unify the whole of Japan, Nobunaga Oda was betrayed by his vassal and died. The man who, after Nobunaga's death, took over and achieved the unification of Japan, was Nobunaga's vassal, Hideyoshi Toyotomi.
4. Regarding Hideyoshi's birth, there are theories that he was a peasant or that he was a low-class warrior known as an "ashigaru" ("footsoldier"), but in any case, it seems he was born into a poor family of low social status.

CONT'D OVER

5. Hideyoshi, who had begun to work for the Oda house as Nobunaga's dogsbody, found out one cold winter's day that Nobunaga was going out. On a cold evening, of course, the "zōri" ("straw sandals") would also be cold, so Hideyoshi warmed up the cold "zōri" for Nobunaga by tucking them inside his coat. It's said that this act of consideration caught Nobunaga's attention and was the beginning of Hideyoshi's successful career. Hideyoshi, who time and again with imagination and creativity made possible those things that everyone else thought were impossible, was given the seal of approval by Nobunaga and went on to be appointed to positions of responsibility.
6. Following Nobunaga's death, Hideyoshi, who avenged Nobunaga and united the whole of Japan, undertook a nationwide survey called the "land survey," in which the area of crop fields were worked out and annual tributes (similar to taxes) decided based on that area. Furthermore, in order to rid the country of insurrections and opposition and gain a firm governing hold, Hideyoshi carried out a "sword hunt," which disqualified farmers from carrying weapons such as swords, and he saw the fruits of his efforts.
7. Furthermore, it is said that Hideyoshi was incredibly gifted in winning people's hearts and minds. A famous line that is often used to express Hideyoshi's character is "If the cuckoo doesn't sing, try to make it sing." If you compare this line to that which I introduced in the blog about Nobunaga, you can clearly see the differences in Nobunaga and Hideyoshi's personalities. Interesting, right?

## VOCABULARY

Kanji	Kana	Romaji	English
雑用	ざつよう	zatsuyō	miscellaneous
懐	ふところ	futokoro	(breast) pocket
出世	しゅっせ	shusse	getting ahead, career advancement, being promoted
創意工夫	そういくふう	sōi kufū	originality and ingenuity
成果	せいか	seika	results, achievement
外出する	がいしゅつする	gaishursu suru	to go out;(v3)

身分	みぶん	mibun	social position, social class
不可能	ふかのう	fukanō	impossible;Adj(na)
かたき	かたき	kataki	enemy
統一する	とういつする	tōitsu suru	to unify;V3

## SAMPLE SENTENCES

<p>よし子さんはつまらない雑用に追われて忙しいそうだ。 <i>Yoshiko-san wa tsumaranai zatsuyō ni owarete isogashisō da.</i></p> <p>Yoshiko seems to be busy with miscellaneous trifles.</p>	<p>秀吉は草履を自分の懐に入れて暖めた。 <i>Hideyoshi wa zōri o jibun no futokoro ni irete atatameta.</i></p> <p>Hideyoshi placed the straw sandals in his breast pocket to warm them.</p>
<p>出世のことしか考えていない良治は嫌われている。 <i>Shusse no koto shika kangaete inai Ryōji wa kirawarete iru.</i></p> <p>Ryōji, who thinks about nothing but advancing his career, is hated by everyone.</p>	<p>彼は創意工夫に富んだ作戦で戦に勝った。 <i>Kare wa sōi kufū ni tonda sakusen de ikusa ni katta.</i></p> <p>He won the battle with an original and ingenious strategy.</p>
<p>努力をすれば必ず成果が現れます。 <i>Doryoku o sureba kanarazu seika ga arawaremasu.</i></p> <p>If you make the effort, you will definitely see results.</p>	<p>彼女は外出する前に日焼け止めをぬります。 <i>Kanojo wa gaishutsu suru mae ni hiyakedome o nurimasu.</i></p> <p>She puts on sunscreen before she goes out.</p>
<p>今も日本に残る身分制度はありますか。 <i>Ima mo Nihon ni nokoru mibun seido wa arimasu ka.</i></p> <p>Are there any social class systems still remaining in Japan?</p>	<p>秀吉は不可能を可能に変える男だった。 <i>Hideyoshi wa fukanō o kanō ni kaeru otoko datta.</i></p> <p>Hideyoshi was the man who turned the impossible into the possible.</p>

秀吉は信長のかたきを討った。  
*Hideyoshi wa Nobunaga no kataki o utta.*  
Hideyoshi defeated Nobunaga's enemy.

秀吉は信長の代わりに日本全国を統一した。  
*Hideyoshi wa Nobunaga no kawari ni nihon zengoku o tōitsu shita.*  
It was Hideyoshi who unified the whole of Japan, instead of Nobunaga.

## GRAMMAR

**Motoko:** オーディオブログ第5シーズン第20課 「豊臣秀吉」

**Tomoyuki:** こんにちは。ともゆきです。

**Motoko:** こんにちは。もとこです。歴史上の人物シリーズももう5回目ですね。

**Tomoyuki:** 今回紹介する人物は誰ですか？

**Motoko:** 豊臣秀吉です。 **Tomoyuki:** では、聞いてみましょう。

\*\*\* ブログ本文\*\*\*

**Motoko:** ともゆきさん、秀吉はご存知ですよ。

**Tomoyuki:** はい、もちろん。日本の有名な俳優さんが大河ドラマで何回も秀吉を演じていますよね。

**Motoko:** また大河ドラマ、出てきましたね。ともゆきさんは大河ドラマお好きなんですか。

**Tomoyuki:** はい、僕は大河ドラマは大好きです。うちの親も、両親もよくみていたので、一緒に見るようになりました。

**Motoko:** すごいですね。

**Tomoyuki:** ちなみに、もとこさんは秀吉と言ったら何が思い浮かびますか。

**Motoko:** 「さる」ですかね。

**Tomoyuki:** 「さる」ですか。秀吉のニックネームですよ。

**Motoko:** はい、そうです。外見が猿に似ていたからという説が有力だそうですね。

**Tomoyuki:** 分かりやすいですね

**Motoko:** でも、低い身分の出身ということを動物に例えて、「さる」と呼ぶこともあるらしいんです。

**Tomoyuki:** そうなんですか。周りから親しみを込めて呼ばれていたなら「さる」も良いかもしれませんけど、僕だったらあまり嬉しくないですね。

**Motoko:** どうせならもっとかっこいいあだ名の方がよかったですね。

Motoko:でもかっこわるいニックネームとは裏腹に秀吉本人は機転が利くというか、いい印象がありますね。

Tomoyuki:そうですね。草履を温めるなんてなかなか思いつきませんよね。

Motoko:そうですね。リスナーの皆さんは草履と聞いて分かりますかね？草履って言うのは日本の昔の履物のことです。

Tomoyuki:ビーチサンダルをイメージするとわかりやすいですよ。とても似ていますよね、ビーチサンダルと草履。

Motoko:現在は皮でできたものが多いですが、イグサという植物でできた草履もあります。昔は、たいてい裸足で草履を履いていたそうですね。

Tomoyuki:日本では履物を玄関に脱いでおきますから、冬はかなり冷たくなってしまったんでしょうね。それを裸足で履くとなると・・・

Motoko:ひんやりして気持ちいい！・・・わけないですよ。

Tomoyuki: (笑) 裸足で、冷たい草履を寒い日に履けば、体は冷えて、寒さが身にしみますよね。

Motoko:そうですね。秀吉が、信長の草履を上着に入れて暖めていたとなると、「気が利くやつだ！」と信長の秀吉に対する評価が上がるのは当然かもしれません。

Tomoyuki:本当ですね。草履は今で言う靴ですから、人の靴を自分の服の間に入れて、体温で暖めた・・・ってことですからね。なかなかできないことですね。

Tomoyuki:ちなみに、秀吉といったら大阪城ですけど、もとこさんはいったことありますか。

Motoko:大阪には何度か行ったことがあるんですけど、大阪城は残念ながらまだ行ったことがありません。ともゆきさんはどうですか。

Tomoyuki: そうですね。僕は、遠くからですが、見たことがあります。ちなみに大阪城公園もあって、とてもいいジョギングコースなんだそうです。

Motoko:あ、そうなんですか。じゃ、けっこう広いってことなんですかね。

Tomoyuki:そうですね。大阪城をまわるだけでもかなり距離があると思います。

Motoko:すごいです。ジョギングができるなんて想像していませんでした。あの、私たちちょっと、大阪城のホームページを見てみたんですけども、

Tomoyuki:ああ、大阪城は観光スポットになってますから、ホームページがありますよね。

Motoko:そうですね。大阪城は8階まであって、それぞれの階に大阪の歴史や秀吉に関する展示がしてあるみたいなんですよ。最上階の8階は展望スペースになっていると書いてありました。

Tomoyuki:ああ、二階だか、三階だかで、昔武将の兜や服を着て写真がとれるところもあるらしいですよ。一人300円かかるみたいですけどね。

**Motoko:**へー、それも面白そうですね。大阪城を1階から8階まで上る間に、大阪や秀吉について勉強できて、8階では、秀吉が見たかもしれない景色をみることができるってわけなので、お勧めです。

**Tomoyuki:**そうですね。大阪には他に有名なタワーもありますが、大阪城から街を眺めるのも趣があって良いかもしれません。

**Tomoyuki:**さて、今回は貧しい家庭から大出世をして大大名になった、豊臣秀吉を紹介しました。

**Motoko:**大阪城に行ったことがある人がいれば是非感想を聞きたいです。 **Tomoyuki:**そうですね。それでは、さようなら。